

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

| | |
|---------|--------------------------------|
| 研究課題番号 | 2RB-2401 |
| 研究課題名 | 気候変動と高齢化に伴う熱中症死亡リスクの時空間評価と将来推計 |
| 研究実施期間 | 2024（令和6）年度～2026（令和8）年度 |
| 研究代表機関名 | 国立社会保障・人口問題研究所 |
| 研究代表者名 | 井上希 |

1. 評価結果

評価ランク： A

2. 委員の指摘及び提言概要

精緻なデータセット（死亡個票）を用いて、熱中症死亡リスクを高齢化や合併症との関係を含めて地域別に詳細分析を行った研究として意義深いものであり、熱中症をさらに深く理解するための重要な材料が提供され、地方公共団体が適応計画を策定する際の一助となる政策的価値の成果が得られていると評価できる。一方で、報告書の内容においてはモデル解析において不明確な部分も見られており、結果やその不確実性が評価できるように、図やパラメータの使い方の説明などの表現・記述方法の改善とともに、今後新たな時空間解析モデルの導入なども期待する。それらは、将来推計を行う際にも重要な観点であり、早期の学術的成果発表とともに予測モデル構築のための道筋を切り開いていただきたい。また韓国・米国との国際共同研究の内容についての成果を期待しており、それをきっかけに他国との共同研究や関係する国際機関への情報提供も期待したい。